

令和7年1月号

春日部セントノア病院

ノア Smile

〒344-0001
埼玉県春日部市不動院野1112-1
TEL048-760-1200
FAX048-760-1201
https://www.saintnoah-kasukabe.jp

1月



キャンドルサービス Candlelight service

12月24日、厳かにキャンドルサービスが開催されました。



ナイチンゲールにならい、手にはキャンドル、看護の初心を胸に、職員が各病棟を訪問、デイルームでは患者さんとのクリスマスソングが高らかに響き渡っていました。



「おじいちゃん、おばあちゃん
いつまでもお元気で！」



プレゼントも
頂きましたヨ!

～目次～

- 理事長挨拶
- 病院短信
- 日常の一コマ
- いきいき看護・介護
- 検査科だより
- キャンドルサービス
- スタッフ紹介

- 吉村 一克
- 田巻 國義
- 鈴木 恵美
- 松尾 綾子
- 木村 収実
- 病棟デイルーム
- 増田 愛子

1月の予定

◇誕生日会 各病棟デイルーム 14:00～

- 1病棟 1月14日(火)
- 2病棟 1月17日(金)
- 3病棟 1月20日(月)



◇初詣&獅子舞 各病棟デイルーム 14:00～

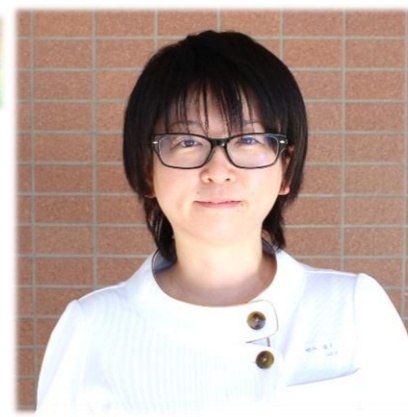
- 1病棟 1月10日(金)
- 2病棟 1月7日(火)
- 3病棟 1月6日(月)



スタッフ紹介

3病棟 看護師
ますだ あいこ
増田 愛子

血液型：AB型
星座：てんびん座
趣味：映画鑑賞、愛犬いじり



8月に入社し、5か月が経ちます。実は11年前にセントノアを退職した再入職者です。その頃にいらっしゃった患者さんにもお会いできて、とても嬉しく思いながら働いています。この10年間は、たくさんの出会いと別れがあり、様々な経験を積むことが出来ました。スタッフの皆さんと、患者さんが穏やかな時間を過ごせるよう邁進していきたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。



新年あけましておめでとうございます。世の中では新型コロナウイルス感染症は消滅したような雰囲気がありますが、当院のような高齢者を預かる施設ではまだまだ対応を必要としています。新型コロナウイルス発生から5年目の今年、どんな年になるでしょうか。

最近M&A（合併と買収）仲介業者から資料が送られてくるのがよくあります。院長が『怪しいぞ』と思われるかもしれない。ただ世の中では、医療機関の倒産が過去最多のペースで進行中で、件数が2009年に記録された52件を大きく上回り、過去最多となる見込みだそうです。医療機関の経営基盤の弱さや、コロナ禍以降も患者数が回復せず、診療報酬の引き下げや医療費抑制政策の影響で、医療機関の収益が圧迫され、人件費や設備費などの運営コストが重くのしかかっていると報じられています。一方、医療機関で働く看護師、介護士らの人手不足は大きな問題で、利益を追求できる民間企業と異なり、国によって決められる社会保障関係費の診療報酬・介護報酬に頼る医療・介護機関では、低い賃金体系が離職者の増加に拍車を掛け、さらに残った医療従事者には重い負担のしかかるという悪循環に陥ってしまっています。看護師らは処遇について「介護のスキル、知識、積み重ねが評価される賃金・昇給体系を取り入れ、頑張れば上がっていく仕組みを促進してほしい」との声が聴かれています。

当院は開院以来、「どんな患者様でも受け入れる」「拘束はしない」「最後まで診させていただく」という基本方針を守ってきました。いろいろと厳しい状況ですが、この基本方針だけは変えることなく今後も長く続けていければと思っています。

ところが我が家にはちよつと大型なワンコがいるのですが、シャンプーや爪切り、歯磨きなど定期的に手入が必要で、嫌がって逃げたり怖い顔をしたりします。今流行りの小型犬には長毛で、定期的に毛のトリミングが必要な犬種も多くいるのですが、噛み癖がある犬ではトリミング店で断られたり、動物病院では鎮静剤を使う必要があると言われてしまうそうです。そんな中『DOG Salon pain』というお店が話題になっています。噛み癖があったり唸るワンコでも、トリマーさんの優しい声かけで無麻酔でトリミングを行ってくれます。そのトリミングの動画がインターネットで配信されていて、その技術に感銘を受け、県外からトリミングに通う飼い主さんも多くなっているとのことなんです。



日常の一コマ
今月は1病棟の米子さん(94歳)をご紹介します。鹿児島県にて9人兄弟の4番目として生まれた米さんは、20歳で結婚して専業主婦となり、ご主人の都合で京都へ転居されましたが、29歳の時にご主人が急逝されたため、鹿児島のご実家に戻って、働きながら2人のお子さんを育てました。社員食堂や社員寮の寮母として55歳まで働いていた米さんは、定年後に一人暮らしをしながらご兄弟やご友人と楽しく過ごされました。

ところが、80歳を過ぎた頃から物忘れが多くなり、時には被害妄想からご家族を責めることが増えてきました。そして、妹さんやご友人が相次いで亡くなったことをきっかけに、一人取り残されてしまう不安感が強くなり、感情的になることが多くなったそうです。自ら「施設に入りたい」と言うので施設入所の準備をしていましたが、夜になると「施設には入りたくない、家にいる。どうして私を施設に入れるの?」と泣いてしまったり、怒って外に出て行ってしまったり…。困り果てたご家族がインターネットで当院のことを知り、令和3年4月に入院することとなりました。



1病棟 看護師 鈴木 恵美

とても働き者の米さんは、おしぼりを丸めたりエプロンをたたんだりする仕事を「忙しいでしょ?私が出来てあげるから貸しなさい」とスタッフに声をかけて手伝って下さいます。また「夜勤大変でしょ、頑張ってるね」「鹿児島に帰ったら美味しいもの送ってあげるからね」など、気遣いの言葉でスタッフを労ってくれます。以前より帰宅願望の訴えは少なくなったものの、テレビで鹿児島の話を見た時などは「帰りたい」と寂しそうにしていらっしやることがあります。そのような時は、しばらく一緒にお話を聞き、米さんの気持ちに寄り添うように心掛けています。これからも米さんが穏やかに安心して過ごせるよう、スタッフ全員でサポートしていきたいと思えます。

検査科 だより 臨床検査技師 木村 収実

コロナ流行から5年が経過し、予防対策として、アルコール消毒、手洗い、うがい、マスク着用が合言葉のようになりました。私たちが行っているアルコール消毒、手洗い、うがい、マスク着用がなぜ大切なのかをまとめてみました。

- 1.アルコール消毒：コロナウイルスを排除、または弱めるため
- 2.手洗い、うがい、マスク着用、換気：コロナウイルスが体に入らないようにするため
- 3.栄養・睡眠を十分にとる、予防接種を受けるなど：コロナウイルスに対する免疫力（抵抗力）を高めるため



ウイルスを自宅（職場）に持ち込まない、拡げないために、「2」は簡単で効果的な対策となります。これから、初詣や新年会など外出が増える時期です。引き続き手洗い、うがい、マスク着用を心がけ、イベントを楽しみましょう。

病院短信

新年おめでとうございます。今年、令和7年は昭和から数えると100年に当たります。時の過ぎゆく速さを日々実感するところではあります。人生の前半を昭和で歩いて来た自分にとっては、年号が「平成」「令和」と変わってゆくその急流に流されるが如くの月日でありました。そしてこの20年に数多くの盟友が幽明の境を異に旅立っていきました。

さて春日部セントノア病院は、今年開院20年を迎えます。「拘束しない」「入院期間に制限なし」そして医療と福祉の両立を目標に実施してきた認知症の専門病院です。しかし20年経っても課題は山積みです。すなわちどこまで治療すべきか、どこからが延命治療なのか、治療が的を得ているか、今だに自問自答の日々が続いています。多分答えは一律ではなく、そこには長い期間患者を支えてきた家族の思いが反映されるべきなのでしょう。今後も家族の方との対話を大切にしていきたいと思えます。皆さんの率直な思いや意見をお聞かせください。

昨年は正月元旦から能登半島の大地震から始まり、その復興もままならぬ1年でした。内外に明るいニュースが少なくないと感じた方も多かったと思いますが、それでもパリオリンピックでの日本選手の活躍や、大リーグの大谷選手などは、1年間明るいニュースと勇気を与えてくれた1年でもありました。今年もは已年です。干支によりますと、強い生命力と努力家の象徴とのこと。そして忍耐力は日本人の特性でもあります。当院を訪れた方に「スタッフが明るい」「患者の表情が穏やか」と言われます。当院の目標でもありモットーです。今後も、20年前開院当時の真剣さ、初心を忘れず、ゆっくり歩んでいきたいと思えます。皆様にとっても良い1年となりますよう祈願して、年頭の挨拶いたします。

いきいき看護・介護

3病棟 介護福祉士 松尾 綾子
明けましておめでとうございます。冬の寒さが一層厳しくなっている毎日ですが、皆さま体調はいかがですか? 気温が低くなると血行が悪くなり、様々な不調が現れやすくなります。体を動かさない期間が長くなると、筋肉の衰えや萎縮、うつ症状などの心身への影響が出る可能性があります。体を動かして予防しようというのが、リハビリ体操です。午後のレクリエーションで新たな体操が始まりました。その名は「うめぼしのうた元気体操」です。

花盛りの梅が実をつけて、その身は落とされ、塩に漬かって赤くなり、夏の暑い頃三日三晩土用干しされて梅干しに、思えばつらいことばかり、これも世のため人のため、しわが寄っても若い気で、子供たちの遠足や運動会におにぎりの具となりついていく…。
そんな健気で、なんとも愛らしいキャラクタ「梅サブロー」が行っている体操なのですが、「いい運動になるね」「疲れるけど体を動かすって良いわね」と、とても好評です。これからも患者さんと一緒に、元気に楽しく体操をしていきたいと思えます。

